

「始めが大事」

校長 二瓶 晃一

「始めよければ全て良し」や「物事は始めが大事である」など、物事の始めの大切さを戒める言葉がたくさんある。我々の日常生活を振り返れば、物事の始めの大切さは誰でも実感していると思う。

例えば、生徒諸君であれば、テストの問題を解いているとき、最初の一問目で躓くとその後も問題を解けなくなってしまう経験をしていると思う。また、朝、お父さんやお母さんにちょっとしたことで褒められれば、その日一日は快適に過ごすことができるのではないだろうか。

本校の一日の始まりは、8時20分から10分間の朝自習である。授業が始まる前のほんのわずかな時間だが学習に集中することで、その日一日の学習が実りあるものとなるように設定してある。生徒諸君は、朝自習に集中できた日は、その後の授業に集中して取り組めた経験をしていると思う。

学校には上手く活用すれば生徒諸君にとって有益となる仕掛けがたくさんある。それらを上手く活用してほしいものだ。

保護者の皆さま、今年度も授業・部活動・学校行事を充実させ、お子様が安心して通える学校づくりをしていきますので、よろしく願いいたします。